

環境技術実証事業 ヒートアイランド対策技術分野の実証対象技術を募集します！

【建築物外皮による空調負荷低減等技術】

(同時資料提供 環境省)

平成 21 年 8 月 7 日 (金)
大阪府環境農林水産総合研究所
研究調整課
担当 山添・梅本
ダイヤルイン番号 06-6972-7634
メールアドレス
etech@mbox.epcc.pref.osaka.jp

平成 21 年度の環境省環境技術実証事業「ヒートアイランド対策技術分野（建築物外皮による空調負荷低減等技術）」における実証対象技術を下記のとおり募集します。

記

1 募集対象技術

「建築物（事務所、店舗、住宅など）に後付けで取り付けることができる窓用日射遮蔽フィルム等の外皮技術であり、室内冷房負荷を低減させることによって人工排熱を減少させるなど、ヒートアイランド対策効果が得られるもの（ただし緑化は除く）」
(詳細は添付資料をご覧ください。)

2 受付期間

平成 21 年 8 月 10 日 (月) から 8 月 28 日 (金) まで

3 その他

この分野においては、実証試験実施に係る実費を申請者に手数料(※募集案内に記載)として負担していただきます。

(問い合わせ先及び申請書提出先)

大阪府環境農林水産総合研究所 企画調整部 研究調整課 (山添、梅本)

〒537-0025 大阪市東成区中道1丁目3-62

TEL 06-6972-7634

FAX 06-6972-7684

E-mail etech@mbox.epcc.pref.osaka.jp

【参考】 環境技術実証事業について

本事業は、既に適用可能な段階にありながら、環境保全効果等についての客観的な評

価が行われていないために普及が進んでいない先進的環境技術について、その環境保全効果等を第三者機関が客観的に実証することにより、環境技術実証の手法・体制の確立を図るとともに、環境技術の普及を促進し、環境保全と環境産業の発展を促進することを目的として、環境省が行っている事業です。

大阪府は昨年度に引き続き、(財) 建材試験センター、(財) 日本塗料検査協会とともに環境省から実証機関として承認されました。この実証事業を行うことは、府内のヒートアイランド対策の推進や地域の産業振興に繋がるものと考えております。

関連ホームページ 環境技術コーディネート事業
(<http://www.epcc.pref.osaka.jp/center/etech/index.html>)

添付資料 実証対象技術の募集について (ご案内)
 申請書

平成 21 年度環境技術実証事業「ヒートアイランド対策技術分野(建築物外皮による空調負荷低減等技術)」実証対象技術の募集について(ご案内)

大阪府環境農林水産総合研究所

環境技術実証事業は、既に適用可能な段階にありながら、環境保全効果等についての客観的な評価が行われていないために普及が進んでいない先進的環境技術について、その環境保全効果等を第三者機関が客観的に実証することにより、環境技術実証の手法・体制の確立を図るとともに、環境技術の普及を促進し、環境保全と環境産業の発展に資することを目的として、環境省が行っている事業です。

この度、大阪府は、平成 21 年度の環境技術実証事業(ヒートアイランド対策技術分野)における実証機関に選定されました。つきましては、実証試験の対象となる技術を下記のとおり募集します。

記

1 募集の概要

(1)実証対象技術

本事業の対象となるヒートアイランド対策技術とは、「建築物(事務所、店舗、住宅など)に後付けで取り付けることができる外皮技術であり、室内冷房負荷を低減させることによって人工排熱を減少させるなど、ヒートアイランド対策効果が得られるもの(ただし緑化は除く)」としております。代表的なものとして、遮へい性能を向上させる窓用日射遮蔽フィルムや、日射反射率を高める高反射率塗料(遮熱塗料)があげられ、原理によらず、上記目的に合致する技術は幅広く対象としております。

【実証対象とする技術例】

具体的実証対象技術	技術の概要
窓用日射遮蔽フィルム	窓ガラスにフィルムを貼付することで、日射を遮へい又は断熱性を向上させ、建築物内部への日射熱取得量又は貫流熱量を減少させる技術
窓用コーティング材	窓ガラスに塗布することで日射を遮へいし、建築物内部への日射熱取得量を減少させる技術
窓用後付複層ガラス	既存窓ガラスを複層化することにより、断熱性能を高め、冷暖房負荷を低減する技術
高反射率建材	建物の屋上・壁面に塗布・貼付することで、建物表面における日射反射率を高め、表面温度を抑制、建築物内部への熱流量を減少させる技術(例:高反射率塗料(遮熱塗料)、高反射率防水シート、高反射率瓦)
その他	上記目的に合致する技術(高反射率ブラインド、日射遮蔽網戸など)

(2)実証試験の実施及び試験方法

次の要領に基づき実施します。

- ① ヒートアイランド対策技術(建築物外皮による空調負荷低減等技術)実証試験要領
※この実証試験要領は、環境省の環境技術実証事業に関するホームページを参照して下さい。(http://www.env.go.jp/policy/etv/pdf/03/09_5.pdf)
※ヒートアイランド対策技術分野のうち「高反射率塗料など」については、別紙の実証試験要領も参照して下さい。
- ② 技術実証に関する実証機関の運用方法を定めた「技術実証に係る申請・実施に関する要領」
※この要領は、大阪府環境農林水産総合研究所の環境技術実証事業のホームページを参照して下さい。(<http://www.epcc.pref.osaka.jp/center/etech/model/index.html>)

(3)実証試験に係る費用負担

実証試験に係る実費は、申請者に手数料として負担して頂くこととなっております。実証試験に係る手数料額は、実証技術の内容及び実証試験の項目等により異なりますが、試験計画の内容が確定した後、精算した上で決まることとなり、原則実証試験開始前に納付していただくこととなります。(納付先:実証運営機関(財団法人 建材試験センター))

なお、実証項目の変更等が生じた場合には、手数料額は改めて確定することとなります。

<実証試験の手数料想定額(税別・1技術あたり)>

※ 設定料金の試験内容は、「実証試験要領」に基づきます。その他、計算条件を追加希望される場合は別途料金が加算されます。

- 日射遮蔽フィルム、窓用コーティング材: ¥286,000
- 後付複層ガラス: ¥176,000 (加速耐久性試験料金を含まず)
- 高反射率塗料: ¥258,000
- 高反射率防水シート: ¥173,000
- 高反射率瓦: ¥208,000
- 高反射率ブラインド: ¥138,000
- 日射遮蔽網戸: ¥251,000

(4)実証試験場所

財団法人 建材試験センター 中央試験所

(5)申請方法

本事業に参加希望の企業は、下記の申請書 11 部(正本 1 部、写し 10 部)を提出願います。(下記 4. の申請先までお申し込み下さい。)

①申請技術についての資料

別添実証申請書(A4サイズ)の各項目について記入したもの及び申請書に添付する

- 資料(様式自由)
②その他(製品サンプル、パンフレット等)

(6)申請の締め切り

平成 21 年8月 10 日(月)から8月 28 日(金)まで (必着・郵送又は持参)

(7)書類選考及び実証技術選定等について

別添申請様式にて申請していただいた後、書類選考及び技術実証委員会での意見を踏まえ、総合的に判断した上で、対象となる技術を選定し、実証運営機関の承認を得て決定します。なお、対象技術の選定は、実証試験要領に示されている形式的要件、実証可能性及び環境保全効果等の観点に照らして行います。

また、選定結果については、申請者に個別に通知するとともに、採用技術を公表することとされていますが、選定経過については非公開とし、問い合わせにも応じられません。

2 スケジュール

	8 月	9 月	10 月	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月
実証対象技術の募集	■							
実証対象技術の選定		■						
実証試験計画の作成		■						
実証試験の実施		■						
実証試験結果報告書の作成							■	
環境省への報告・公開								■

3 その他

- ・特許に関する調整事項がある場合は事前に調整を済ませておいてください。
- ・本件につきましては可能な限り情報を公開していくこととしておりますが、公開できない情報につきましては別途相談ください。
- ・実証試験の結果はすべて、実証試験結果報告書として、環境省などのホームページで公表します。
- ・本事業は、実証対象技術の性能を客観的に試験し、その結果を公表するものであり、その技術について、認証や認定を与えるものではありません。

4 問い合わせ先及び申請書提出先

大阪府環境農林水産総合研究所 企画調整部 研究調整課（山添、梅本）

〒537-0025 大阪市東成区中道1丁目3-62

TEL 06-6972-7634

FAX 06-6972-7684

なお、環境技術実証事業全般については環境省の以下のホームページに詳しく紹介されていますので参考にしてください。

【 環境技術実証事業ホームページ(環境省) <http://www.env.go.jp/policy/etv/> 】

申請書類様式

- ・ 様式第 1 実証申請書
- ・ 様式第 1 別紙 1 : 実証申請者名・住所・担当者所属・担当者氏名等
- ・ 様式第 1 別紙 2 : 実証対象製品について
- ・ 様式第 1 別紙 3 の 1 : 技術の概要 (原理・特徴)、自社による試験結果及び技術仕様
- ・ 様式第 1 別紙 3 の 2 : コスト概算、開発状況・納入実績、その他 (特記すべき事項)
- ・ 様式第 1 別紙 4 : 同一規格製品 (OEM 製品) に関する確認書

- ・ 様式第 2 (追加・変更) 申請書

(様式第1)

平成21年 月 日

大阪府環境農林水産総合研究所
所長 吉田 敏 臣 様

(住所)

(名称)

(代表者名)

印

実証申請書

環境技術実証事業ヒートアイランド対策技術分野「建築物外皮による空調負荷低減等技術 実証試験要領」 本編Ⅲ-1.の規定に基づき、下記のとおり申請します。

記

1. 実証対象製品名・型番
2. 申請者連絡先等 (別紙1) のとおり
3. 製品データの概要 (別紙2) のとおり
4. 製品データの詳細 (別紙3の1) 及び (別紙3の2) のとおり
5. 同一規格製品の扱い 「該当なし」又は「(別紙4) のとおり」と記載すること。
6. その他添付資料 実証対象製品の基本仕様書、パンフレット、施工マニュアル などの資料名称を本欄に記載の上、添付すること。

以上

(様式第 1 別紙 1)

企業名	フリガナ (全角)	
	漢字 (全角)	
担当者所属・役職	フリガナ (全角)	
	漢字 (全角)	
担当者	フリガナ (全角)	
	漢字 (全角)	
郵便番号	(半角)	
住所	(漢字・仮名は全角、 英数字等は半角)	
電話番号	(半角)	
FAX 番号	(半角)	
メールアドレス	(半角)	
ホームページ	(半角)	

(様式第 1 別紙 2)

○製品について

技術開発企業名	フリガナ (全角)	
	漢字 (全角)	
実証対象製品名	(漢字・仮名は全角、 英数字等は半角)	
実証対象製品の型番	(漢字・仮名は全角、 英数字等は半角)	

○製品が該当する技術

番号	実証対象技術
<input type="checkbox"/> 1	窓用日射遮蔽フィルム
<input type="checkbox"/> 2	窓用コーティング材
<input type="checkbox"/> 3	窓用ファブリック
<input type="checkbox"/> 4	後付複層ガラス
<input type="checkbox"/> 5	高反射率塗料
<input type="checkbox"/> 6	高反射率防水シート
<input type="checkbox"/> 7	高反射率瓦
<input type="checkbox"/> 8	5～7 を除く高反射率建材
<input type="checkbox"/> 9	その他

※該当する番号に■をすること。

↓ “8 (5～7 を除く高反射率建材)・9 (その他)” を選択した場合は、技術の種類について詳細を以下に記載すること。

--

(様式第1 別紙3の1)

1. 技術の概要

項目	記入欄
原理	
技術の特徴・長所・ セールスポイント等	

2. 自社による試験結果

項目	測定値等	備考(測定者・条件など)

3. 技術仕様

項目	記入欄
設置条件	対応する建築物・窓など
	施工上の留意点
	その他設置場所等の制約 条件
メンテナンスの必要性耐候性・製品寿命など	

(様式第1 別紙3の2)

4. コスト概算

費目	単価	数量	計
合計			
〔備考〕			

5. 開発状況・納入実績

もっとも近い番号に○をつけてください。

- 1. 既に製品化しており、製品として出荷できる。
- 2. 納入実績がある。

※該当する番号に■をすること。

↓ “2. 納入実績がある”を選択した場合、具体例を記入すること。

--

6. 技術の先進性等について

--

7. その他（特記すべき事項）

--

(様式第 1 別紙 4)

同一規格製品 (OEM 製品) に関する確認書

(1) 申請した製品

実証対象製品名・型番 ^{※1}	
申請者 (企業名)	

(2) 同一規格製品 (OEM 製品)

1	製品名・型番 ^{※2}		
	申請者	企業名	
		担当者の 所属・役職	
		担当者氏名	
担当者の 連絡先		(〒 -)	
2	製品名・型番 ^{※2}		
	申請者	企業名	
		担当者の 所属・役職	
		担当者氏名	
担当者の 連絡先		(〒 -)	

※1 : 申請書で記載した製品名・型番を記入すること。

※2 : 同一規格製品 (OEM 製品) の製品名・型番を記入すること。申請した製品との関係を示す書類を添付すること。

※3 : 欄が足りない場合は適宜同様の欄を追加すること。

(様式第2)

平成21年 月 日

大阪府環境農林水産総合研究所
所長 吉田 敏臣 様

(住所)

(名称)

(代表者名)

印

(追加・変更) 申請書

平成21年 月 日付けで申請した「(実証対象製品名・型番)」について、環境技術実証事業ヒートアイランド対策技術分野「建築物外皮による空調負荷低減等技術 実証試験要領」本編VII-5.の規定に基づき、下記のとおり(追加・変更)を申請します。

記

1. (追加・変更) 事項

2. (追加・変更) 理由

以上